

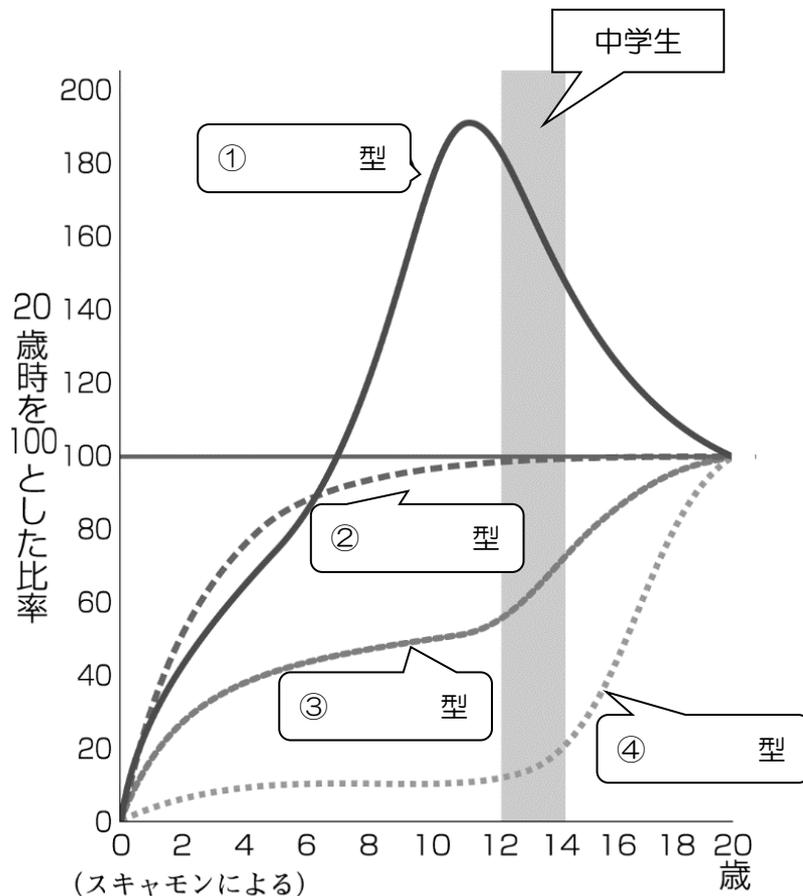
1. 心身の発達と心の健康

①体の発育・発達 (P46~47)	1年 組 番
	名前

(1) 以下の文の () に当てはまる語句を答えなさい。

- ・生まれてから大人になるまでの間に、身長や体重が急速に発育する時期が 2 回ある。これを (①) という。中学生の時期は、(②) あたる。
- ・(②)は、女子のほうが男子よりも早く始まるが、始まる時期や発育の程度には(③) がある。
- ・体には、呼吸器官、循環器官、消化器官など、さまざまな (④) がある。体をつくる細胞の多くは (⑤) mm以下の大きさである。この細胞が集まって筋肉や神経などの組織がつくられ、何種類かの組織が組み合わさって (④) がつくられる。
- ・(⑥) ……主に大きさや重さが増すこと。
- ・(⑦) ……働きが高まること。
- ・成長をうながす (⑧) は、特に寝ついてからすぐの時間帯に多く分泌される。適度な (⑨) をして、ぐっすり眠ることが体の発育・発達にもよいということになる。

(2) 以下のグラフと右の文の空欄くうらんに当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



- 神経細胞できている器官 (⑤) や脊髄など
ほかの器官に比べて非常に (⑥) 発育・発達する。3~4歳のころには、大人の機能の約80%に達している。
- リンパ器官 (胸腺や扁桃など)
(⑦) から体を守るはたらきがある。胸腺は中学生のころには大人の2倍にもなり、はたらきも盛んになる。
- 呼吸器官・循環器官 (肺や心臓など)
身長や体重などと同じように (⑧) のころに急激に発育・発達する。
- 生殖器官 (卵巣、精巣など)
思春期のころに急激に発育・発達する。